

あのペット達はまだ私の心の中でまだ生きている

2023年6月23日

太田隆次

皆様もこれまでペットを飼われたことがあると思います。

今回は私が飼ったペットたちとの幸せな思い出を書かせて頂きます。

1. お礼をしてくれたあの黒猫

私が生まれてはじめて飼った動物は、中学生の頃、迷い込んできた黒猫でした。

「するめ」が好きでした。 私たちの気持ちが表情で読み取れたらしく、飼い主の私たちの気持ちを先取りした行動で喜ばせてくれました。

ある時、雀を一羽、口にくわえたまま私の目の前にぶら下げてきました。その頃、我が家は農家の一軒家を借りていましたが鼠がいなかったせいか、鼠を捕まえて来たことは一度もありませんでした。きっと何か言いたかったのでしょうか、今でも分かるようで 分かりません。

2. 人間になりきった積りのインコ

横浜で、新築した家に住み始めた頃、どこからかインコが迷いこんできてそのまま飼うことにしました。巣箱に入れましたが出してくれと、うるさいので24

時間あけたままにしておきました。オウムやインコは人間の言葉や動作を真似するといいますが、このインコは度が過ぎていました。



手鏡が大好きでいつまで自分に見とれて？話し掛けていました。湯飲みを与えると、水はこの湯飲みでしか飲みませんでした。

(写真をご覧ください)

3. 自分を人間と思っている犬

どの犬も最初は水をかけられるのを嫌がりますが、私たちが飼っていたビーグル犬は水を浴びるのが好きになりました。（写真をご覧ください）



散歩が好きで「散歩！」というとき引き綱を自分でくわえて飛んできました。

犬は人間の言葉を150語程度理解できるそうですが、私は試したことはありません、テレビで主人に言われて夕刊や冷蔵庫のビールを取りに行く犬がいますが羨ましいです。入浴中、風呂桶を落としたら小さいトイプードル犬が転がるように駆けつけてきてドアを叩いた話を聞きました。

心が暖まります。

終わり